



社会医療法人智徳会

未来の風せいわ病院

地域医療連携室ニュースレター

No.48 令和7年 8月発行
〒020-0401
盛岡市手代森9-70-1
電話番号 019-696-2055
FAX 番号 019-696-4185

ごあいさつ



事務部長
永井 亮

各関係機関の皆さまには平素より当院の運営につきましてご協力とご理解を頂いておりますことに、あらためて感謝を申し上げます。

毎日暑い日が続いております。数日前の新聞に「暑」という漢字の字源が載っておりました。それによりますと「暑」は灼熱の太陽が人に降り注ぐ様子を表し、その字源は者を火であぶるかに見える「煮」と同じなのだそうです。

このように暑い中、全国各地で連日夏の高校野球が行われています。私も昔野球をやっておりましたが、今思うとグラウンド上は40℃を超えと言われる中で、長時間水分も取らず(昔は禁止されておりました)よく毎日あのように走り回っていたものだといえながら自分自身に感心しております。球児の皆さん十分に水分補給し、体調管理をしながら頑張ってくださいと思います。

また、「暑い」と言えば、先日の参議院選挙でも「熱い」戦いが行なわれました。税金・裏金・物価高・外国(人)への援助などなど、政治に詳しくない私でも、首を傾げること、理解できないことが多い中、自民・公明の与党政権には非常に厳しい結果となりました。これを機に我々の生活、特にも現役世代の方々が安心・納得して生活できる世の中になって欲しいと心から願っております。

基本理念

すべてのひとがいきいきと自分らしく生きていける地域社会づくり

8つの基本指針

1. 私たちは、常に笑顔を絶やすことなく最高のサービスを提供します
2. 私たちは、「ひとの心の痛み」に涙する。温かく深い人間性と豊かな感性を磨きます
3. 私たちは、いのちの尊厳と基本的人権を尊重します
4. 私たちは、社会的使命をもってよりよい地域社会づくりに努めます
5. 私たちは、職業人として技術と資質の向上に努めます
6. 私たちは、よりよい職場づくりのために対話と相互理解に努めます
7. 私たちは、共に働く仲間たちに感謝し、自らの仕事に誇りを持って働きます

■ムーンショットプロジェクト（MSP）の紹介

～対話のある風土、対話のある組織づくりを目指して～

ムーンショットプロジェクトメンバーの間と申します。ムーンショットプロジェクトとは、当法人が10年後20年後そして50年後も地域の皆さんに必要とされ、我が国を代表するような病院・施設となることを目指す壮大な法人内プロジェクトのことです。

2023年4月に10名のメンバーで活動開始し現在14名のメンバーで活動していますが、メンバーは、医師、看護師、精神保健福祉士、作業療法士、介護福祉士、公認心理師、事務員といった多岐にわたる職種で構成されており、私も普段は心理職として病院勤務しております。

具体的な活動として2023年度はまず病院の現状を知るために職員対象にアンケート調査やヒアリングを行い、そこで顕在化した課題の解析を行いました。その結果として地域に必要とされる病院・施設となるには、まずは職員が安心して働ける環境づくりが必要という結論に至り、2024年度は“すべての職員がいきいきと働いていける職場づくり”を目標に掲げて活動しました。具体的には、・法人ビジョン浸透のためのビジョン研修・人事評価のブラッシュアップ・ワークライフバランスの強化という3本柱を定めて関係部署と連携しながらプロジェクトを進めました。

今年度に入り、今の法人に必要なことについてさらに深掘りして分析・検討を進めたところ、「対話」というキーワードが浮かび上がってきました。「対話」が組織風土として定着すれば、職員がより安心して働くことが可能になるだけでなく、職員の患者・利用者へのケア力向上につながるとの想いを持って、現在法人内で組織横断的な研修など「対話」に関する様々な活動を始めております。

「対話」は“お互いの違いを尊重し理解しあうためのコミュニケーション”であり、対話文化が根づけば“現状をより良くする方法の発見と共有”に繋がると考えております。地域の皆様とも「対話」を重ねながら、さらなる地域連携・支援を進めていきたいと考えておりますので今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



MSPメンバー



研修風景

■精神科認定看護師ごあいさつ

加藤 悟

社会医療法人智徳会未来の風せいわ病院に所属しております日本精神科看護協会精神科認定看護師の加藤と申します。

これまで病棟に勤務しながら経験したことに、資格取得の養成課程で学び得た知識を載せて研鑽を積みながら過ごしてきました。この間、医療行政の変化や課題、対象のニーズの多様化に対応していくことが求められている中で、限られた入院期間で対象者と家族・支援者（機関・組織）の意向や病態・病期を踏まえながら、支援内容と資源の調整について進捗共有していく役割に携わりました。



認定看護師の役割として「実践」「相談」「教育」「知識の発展」があります。

今後、臨床経験を通して得た学びを地域の精神的援助を必要としている方に対して相談や専門的知識技術を用いた支援を実践する機会を通して、その人らしい生活をささえるといった利益に還元していけるように共に学び日々進んで参りたいと思っています。

各関係機関の皆様方には当法人とともによろしくお願いいたします。

■第48回盛岡さんさ踊りに参加

盛岡の真夏の風物詩であるさんさ踊りに今年も未来の風せいわ病院として参加しました。6月より週2～3回、勤務が終わった後に太鼓、笛、踊りの練習を行い当日に臨みました。普段の行いが良いせいか雨の天気予報も吹き飛ばし、暑い中ではありましたが91人の「笑顔」が咲き誇り、沿道の皆様にも「笑顔」が感染したのではないかと考えております。

踊り、太鼓、笛のそれぞれのリーダー、そして親睦会の皆さん、お手伝いをしてくださった皆さんの協力により無事に成功できたと思っています。来年は、150名以上の参加者を目指し、「魅せるさんさ」「愉しむさんさ」「華麗（加齢）なさんさ」に磨きをかけて、新しい踊りにもチャレンジしようと、今からイメージトレーニングしております。



～新規の受診・入院相談～

019-696-2055 にお電話下さい。

相談時間 平日：9:00～16:00

FAX:019-696-4185

初診・再診の予約制を実施しております。電話対応した事務員に地域医療連携室とご指定ください。はじめての受診・入院相談は地域医療連携室がお受けいたします。受診の際には、下記URLから患者紹介FAX申込書を別途ダウンロードしてお使いください。

URL：<https://mirai-seiwa.com/chiikiiryorenkei/iryokikan>

外来担当医

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
新患担当	小野医師		千葉医師	佐々木(浩)医師 鈴木医師	佐藤医師	再診のみ 第1・第3 佐々木(浩)医師 第2・第4 智田医師
再診担当	菊地医師 鈴木医師		佐々木(浩)医師	智田医師 小野医師		

診療時間

月曜日～金曜日	8:30～17:00
土曜日	8:30～12:00
休診日	日曜・祝日・お盆(8/14～16)・年末年始(12/29～1/3)

病院へのアクセス



社会医療法人智徳会

未来の風せいわ病院

〒020-0401 岩手県盛岡市手代森9-70-1

TEL：019-696-2055(代)

FAX：019-696-4185

<https://mirai-seiwa.com>

バス

●長岡線・日詰駅前行き

盛岡駅（5番）発又は盛岡バスセンターより乗車、手代森ニュータウン北口降車（約20分）バス停より徒歩5分

●日赤経由・ふれあいランド経由川久保線、乙部線手代森ニュータウン南口行き又は乙部行き

盛岡駅（5番）発盛岡バスセンター経由、手代森ニュータウン北口降車（約20分）バス停より徒歩5分

●中央線・都南の園営業所行き

盛岡駅（5番）発盛岡バスセンター経由、手代森ニュータウン入口降車（約30分）バス停より徒歩3分



車

●盛岡駅から車で20分
（国道4号・396号経由 水門バス停過ぎ左折後、500m左側）

●東北自動車道 盛岡南ICから車で15分
（県道36号・国道396号経由 同上）

※無料駐車場完備